

令和3年度（2021年度）八王子市立中学校・義務教育学校（後期課程）使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 国語（1／1枚目）					
調査の観点	発行者名	東京書籍	三省堂	教育出版	光村図書出版
<p>1 内容</p> <p>(1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。</p> <p>(2)生徒の発達段階に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)目標及び内容の押さえ方に対する配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十分配慮している。巻頭には領域ごとの既習事項とその学年での学習事項が掲載され、学習事項については、学習指導要領との対応を明示している。 <p>(2)生徒の発達段階に対する配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本編、基礎編、資料編から成り、各領域において、3年間を見通した系統性・段階性をもった目標が立てられ、単元を配列している。 ・漢文は、第2学年で漢詩、第3学年で論語となっている。 	<p>(1)目標及び内容の押さえ方に対する配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十分配慮されている。学習指導要領の目標と内容を網羅している。学習過程の明確化や学習の系統性の重視、言語活動が充実している。 <p>(2)生徒の発達段階に対する配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必修内容の本編と補助的・発展的内容の資料編で構成され、本編は、生徒の発達段階の特性や、学校生活、行事、季節感などを踏まえ、単元の系統性が明らかになっている。また、各学年、同じ時期に同じ領域が学習ができるようになっている。 ・漢文は、第2学年で漢詩、第3学年で論語となっている。 	<p>(1)目標及び内容の押さえ方に対する配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十分配慮している。各学年の学習指導要領の目標および内容を網羅している。それぞれの教材の目標を明確化し、第3学年で系統的・段階的に学習が進められるようになっている。 <p>(2)生徒の発達段階に対する配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導内容を繰り返し学べるように学年内、学年間を通して単元を構成している。 ・漢文は、第2学年で論語、第3学年で漢詩となっている。 	<p>(1)目標及び内容の押さえ方に対する配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十分配慮している。各教材のねらいを明らかにし、基礎的・基本的な内容が定着するよう、学年内、学年間を見通して、系統的・段階的に位置付けられている。 <p>(2)生徒の発達段階に対する配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本教材」「小教材」「コラム」「特設教材」それぞれを、生徒の発達段階や学習過程を考慮し、学習系統を段階的、系統的に構成している。 ・漢文は、第2学年で漢詩、第3学年で論語となっている。 	
<p>2 構成上の工夫</p> <p>(1)重点調査項目</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け配慮しているか。</p> <p>(2)構成・分量等、生徒の発達段階を十分に配慮しているか。</p>	<p>(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けての配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標と振り返りが明確で、学習の見通しをもちやすい。 ・自分の考えを基に他者と関わることで考えを深めたり、再考する場面を設ける教材が多くコミュニケーションを図りながら知識を広げたりすることができる。 ・カリキュラム・マネジメントの工夫や「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた配慮をしている。 <p>(2)構成・分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年、7つの単元で構成している。 ・9年間を見通した教材を選択している。 ・B5判。本編約230ページ、基本編約40ページ、資料編約70ページ。 	<p>(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けての配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標とゴールが分かるようになっており、学習例が多く示されているため、課題のイメージがもちやすい。 ・自分の考えや相手の意見を整理したり分かりやすく伝え合ったりするなど、他者と関わり合いながら思考を深め、コミュニケーション能力を高める教材を多く設けている。 ・カリキュラム・マネジメントの工夫や「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた配慮をしている。 <p>(2)構成・分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1、第2学年は9つ、第3学年は8つの単元で構成している。 ・9年間を見通した教材を選択している。 ・B5判。本編約260ページ、資料編約75ページ。 	<p>(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けての配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標と振り返りが明確で、学習の見通しをもちやすい。 ・教材ごとに交流する場面を設け、相互に課題を交換しながら、主体的に他者と関わりながら考えを深められる工夫が見られる。 ・カリキュラム・マネジメントの工夫や「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた配慮をしている。 <p>(2)構成・分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1、第2学年は9つ、第3学年は8つ単元で構成している。 ・9年間を見通した教材を選択している。 ・B5判。本編約260ページ、資料編約80ページ。 	<p>(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けての配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標とゴールが見開きで分かるようになっており、課題のイメージがもちやすい。 ・相手や目的、場面に応じて互いの立場や考えを尊重し、問題解決に向けて協働する場面を多く設けている。 ・カリキュラム・マネジメントの工夫や「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた配慮をしている。 <p>(2)構成・分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年8つの単元で構成している。 ・9年間を見通した教材を選択している。 ・B5判。本編約230ページ、文法・漢字編約20ページ、資料編70ページ。 	
<p>3 情報活用能力の育成に関する配慮をしているか。</p> <p>(1)生徒の情報活用能力を育む構成となっているか。</p> <p>(2)生徒一人一人がコンピュータを活用できる工夫がされているか。</p>	<p>(1)生徒の情報活用能力を育む構成</p> <p>メディアリテラシー及び情報活用能力を育成する教材を全学年で設けている。</p> <p>(2)コンピュータを活用できる工夫</p> <p>Dマークを示した教材では、インターネットを通して、学習に関連する音声や映像資料を活用でき、巻末にその一覧とQRコードを記載している。</p>	<p>(1)生徒の情報活用能力を育む構成</p> <p>図表や文章など多様な情報を関連付けながら現代の課題について考えられる構成になっている。</p> <p>(2)コンピュータを活用できる工夫</p> <p>インターネットの検索方法や、ウェブ引用の注意点などが示されており、正しい情報活用の仕方を育むことができる構成になっている。</p>	<p>(1)生徒の情報活用能力を育む構成</p> <p>全学年に「情報社会を生きる」を位置付け、情報の収集や発信、メディアリテラシーを系統的に学べるような構成になっている。</p> <p>(2)コンピュータを活用できる工夫</p> <p>QRコードが示されている教材にはインターネット環境を使用するなどして、生徒が学習を進めるなかで参考となるような資料が収められている。</p>	<p>(1)生徒の情報活用能力を育む構成</p> <p>身近なメディアについては、言語との関わりを通して理解できるような構成になっている。また、確実に身に付けたい重点的な内容については「ここが大事」にまとめられている構成になっている。</p> <p>(2)コンピュータを活用できる工夫</p> <p>巻頭あたりに、「まなびリンク」の項目を設け、QRコードや、出版社のウェブサイトにくくと、教材に関わる資料などを見ることができる。</p>	
<p>4 使用上の便宜</p> <p>(1)教員にとって、使いやすくなるための配慮がされているか。</p> <p>(2)生徒にとって、読みやすい表現であるか。</p> <p>(3)地域性に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)教員にとって、使いやすくなるための配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書独自のキャラクターによる「問いかけ」が学習のねらいとなっている。「言葉のカーナビ」で身に付けたい力の全体が見渡せる。 ・「振り返り」の「自分の言葉でまとめよう」で、学習内容を言語活動につなげることができる。 ・振り返り「これからの学習や生活でどう生かしていきたいかを書こう」で生活や社会的な視野への発展ができる。 ・読書教材は「碑」、「生まじめんかな」が取り上げられており、平和教育に力を入れている。 <p>(2)生徒にとって、読みやすい表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・41字×20行、1ページ820字。UDフォントと手書き風明朝体を使用している。主に2色刷り。振り仮名が多い。 ・印刷は鮮明、扉絵とイメージ写真が用いられている。随所にイラストがある。 ・教科書独自のキャラクターや中学生のキャラクター(6人)が登場し、学びの扉(漫画)、教材のねらいで用いている。 <p>(3)地域性に対する配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年「郷土のよさを伝えよう」(2年)で例として挙げられる「近尾山」が「高尾山」を想起させる。 	<p>(1)教員にとって、使いやすくなるための配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びの道しるべ」が見開きとなり、学習の進め方が一目で分かる。 ・振り返りのキーワードを掲載している。類義語の紹介によって語彙を増やすことができる。 ・「振り返り」では、キーワードを用いて学んだことを自分の言葉でまとめる活動ができる。「学びを広げる」には、数百年後の地球のために今できること、合評会を開こう、映画のキャッチコピーなどがある。 ・読書教材という位置付けはないが、読書活動としてブッククラブやビブリオバトルなどを設定している。 <p>(2)生徒にとって、読みやすい表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・43字×20行、1ページ860字。主に明朝体。黒以外に3色。比較的カラフルである。 ・印刷は鮮明、論理的な文章の資料、挿絵として写真が多い。 ・J-POPアーティストの歌の歌詞(栄光の架橋、365日の紙飛行機、さくら)。漫画家の評論(手塚治虫)など、生徒の生活や興味に即した作品が取り上げられている。 <p>(3)地域性に対する配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年「複数の情報を関連付けて考えをまとめる」で、八王子市の防災に関連付けた発展的な学習ができる。 	<p>(1)教員にとって、使いやすくなるための配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びナビ」で学習に入る前の「かまえ」を持つことができる。「ここが大事」でポイントの整理ができる。 ・キーワードの抜き出しや、展開図の完成(教科書に書き込むタイプ)がある。 ・「言葉と表現」で言葉の働きを確認して表現活動に生かすことができる。 ・読書教材は、生徒に勧めやすい近代作品が配置されている。 <p>(2)生徒にとって、読みやすい表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・42字×18行、1ページ756字 明朝体。主に2色刷り。 ・印刷は鮮明、前後の裏表紙に大きい写真あり。論理的な文章の資料、挿絵として写真が多い。 ・漫画の表現方法、アニメの絵コンテ(情報の整理)ミュージシャン(坂本龍一)キャスター(国谷裕子)漫画家(さくらももこ)の評論、詩など、生徒の生活や興味に即した作品が取り上げられている。 <p>(3)地域性に対する配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文学にゆかりのある風景(全国)についての特集があり、八王子市への発展的な学習につなげることができる。 	<p>(1)教員にとって、使いやすくなるための配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の窓で読解のポイントを整理している。 ・「読み深める」で話し合う項目を提案している。「考えを持つ」で体験や考えを発表したり、グループで朗読する活動がある。 ・「言葉を広げる」で文章のキーワードと社会問題を結び付けて捉え直したり、今後の文章読解に生かしたりする工夫がされている。 ・読書教材は、生徒に勧めやすい教材が配置されている。 <p>(2)生徒にとって、読みやすい表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・41字×20行、1ページ820字 明朝体。主に2色刷り。 ・単元扉にイメージ写真。折り込み写真(最後の晩餐)がある。 ・中学生が主人公の本の紹介(あと少しもう少し、西の魔女が死んだ)があり、読書への導入となっている。 <p>(3)地域性に対する配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土ゆかりの作家作品の紹介があり、八王子市への発展的な学習につなげることができる。 	
<p>5 その他</p>	<p>(1)SNSや情報モラルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉とメディアについては「ニュースの見方」「多面的なものの見方」等全学年で学習する機会を設定している。 <p>(2)SDGs(持続可能な開発目標)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年で戦争、第2学年で他国と自国の文化、第3学年で自然災害等SDGsに関連した単元を取り入れている。他の教科との関連が教科書中に明記されているため、教科横断的な学習を行うことができる。 <p>(3)オリンピック・パラリンピック教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年でパラリンピックについて等、福祉や共生社会について読書案内を設けている。 	<p>(1)SNSや情報モラルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアリテラシーや情報の信用性等インターネット等を使用する際の注意が全学年を通して学習できる。 <p>(2)SDGs(持続可能な開発目標)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6つある基本方針のうち、「共生社会の一員として」というテーマの基に、第1学年で防災、自然災害、第2学年で公共の精神、第3学年で平和、環境保全に関する説明文や資料を掲載している。 <p>(3)オリンピック・パラリンピック教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年の読書教材で、パラリンピックについて掲載している。 	<p>(1)SNSや情報モラルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年にメディアと表現についての学習があり、第2学年でSNSとの付き合い方について学習場面が設定されている。 <p>(2)SDGs(持続可能な開発目標)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年でSDGsについての解説があり、単元とSDGsの関係が教科書に明記されている。また、総合(SDGs)という種別があり、第1学年で「エシカル消費」第2学年では「不平等のない社会」や「LGBT」について、第3学年で「環境保全」についての資料を掲載している。 <p>(3)オリンピック・パラリンピック教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年の読書教材で、パラリンピックについて掲載している。 	<p>(1)SNSや情報モラルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集、整理能力を身に付けるため「情報社会を生きる」という単元を設定している。 <p>(2)SDGs(持続可能な開発目標)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語や詩、資料を通して平和や男女平等、自然等について学習する機会を設定している。 <p>(3)オリンピック・パラリンピック教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年はアスリート、第2学年はサッカー、第3学年はオリンピックのボランティアについて掲載している。 	